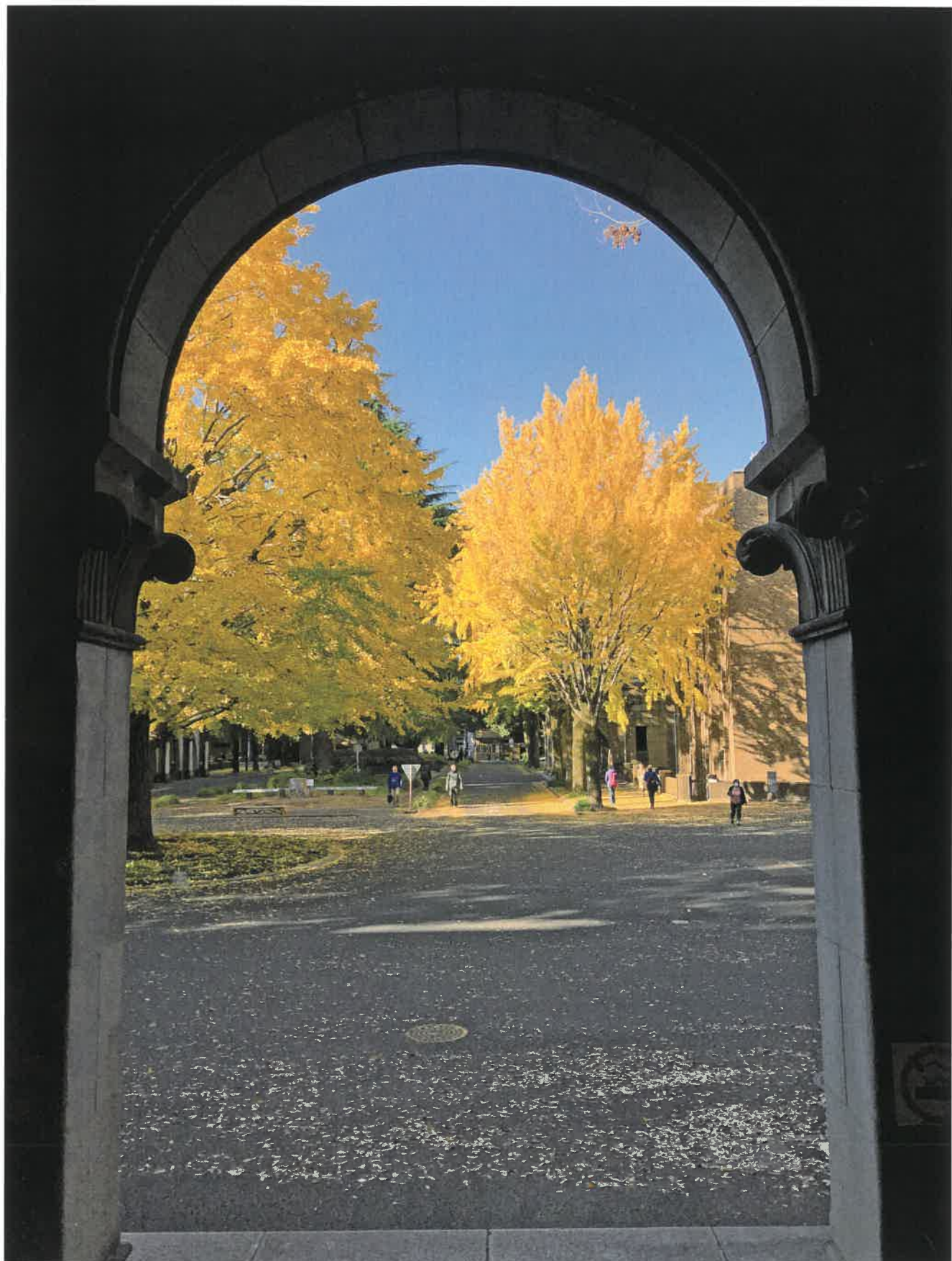


# 向ヶ岡弥生町

News Letter

VOL.17 2018年10月1日発行



東京大学農学部 銀杏並木 農学部3号館から(2018年11月30日)

## 東京大学駒場 I キャンパスの弥生道と向ヶ岡弥生町を名称由来とする施設

東京大学駒場 I キャンパスを東西に縦断する銀杏並木は「弥生道」(写真 2)と呼ばれています。関東大震災後の昭和 10 (1935) 年、駒場の東京大学農学部と向ヶ岡弥生町にあった第一高等学校(以下、一高)との敷地交換が行われます。移転後、旧一高の銀杏並木(表紙)を学生が懐かしんで駒場の並木を「弥生道」と呼びました。

キャンパス名にある「駒場」は、江戸時代以前からあった地名で、現在の大橋、青葉台を含む地域で「駒場野」と呼ばれていました。文京区駒込、渋谷区駒沢と共に古代・中世の軍馬の産出にちなんだ地名とされます。江戸時代、幕府の御鷹場となり、八代将軍徳川吉宗の時代には薬園が置かれ、幕末は軍事教練が行われました。

明治時代、農学校開校。農学校の範囲は現在の駒場 I キャンパスの倍の面積がありました(図 1)。大正 8 年(1919)東京帝国大学農学部に改称、関東大震災後、一高は駒場に移転します(図 2)。現在、農学部に一高の記念碑『向陵碑』が建立されています(写真 3・図 3)。明治 11 (1878) 年の農学校の開場式には明治天皇が招かれ、内務卿 大久保利通、大警視 川路利良、明治政府高官列席ものと開校式が行われます。農学校は日本初の近代農業の教育、研究機関で内務卿 大久保が講師の人選を行い、優等生の褒賞費の基金は大久保の寄付が充てられました。

明治 7 (1874) 年 新宿御苑に農事修学校創設

明治 10 (1877) 年 2 月 西南戦争

明治 10 (1877) 年 農事修学校、農学校に改称、同年駒場移転

明治 11 (1878) 年 農学校開校

明治 15 (1882) 年 駒場農学校に改称

大正 8 (1919) 年 東京帝国大学農学部に改称

大正 12 (1923) 年 関東大震災で被害

本郷の第一高等学校と敷地交換検討

昭和 10 (1935) 年 第一高等学校移転

昭和 20 (1945) 年 5 月 25 日 空襲被害

昭和 24 (1949) 年 学制改革、教養学部設立

「弥生道」由来となった「弥生」は水戸藩 9 代藩主 徳川齊昭が藩主就任前の部屋住み時代に碑文を記した「向岡記碑」が由来です。『水戸藩史料』の中に以下の記述があります。

「製茶 附蜂蜜

天保六年五月城西見川村緑岡谷に御殿山と稱すの地を相して茶園を創設せり(中略)去年公には山城宇治の人小川佐助なるもの、樹藝と製茶とに精しきを聞き試みに駒込別邸の茶を製造せしめたるに色澤香味大に賞すべきものありければ此に至りてこれを聘し藩内を巡行して茶樹の良種を鑒別せしめ遂に此の地に栽培したるなり(中略)扱ハ此表へ宇治より参居候浪人有之候處茶製ハ宇治にてい多し至て功者に候處不試中ハ何とも申兼候故一年駒込屋敷長に有之候茶を申付試候處上々喜撰より

して摺茶迄も出来(後略)』(吉川弘文館 1968『大正 4 年十一月十日発行 侯爵徳川家蔵版 水戸藩史料』別記下巻二十一 pp.501-502)

齊昭は宇治から茶師小川佐助を招聘し、駒込邸と水戸で茶の試験栽培と製造実験を行って喜撰(煎茶)と摺茶(抹茶)の製造に成功し国元に茶製造と栽培を広げます。水戸では中山成元が安政 6 (1859) 年、日本ではじめて海外への茶売り込みに成功しています。(第一八回関東ブロック茶の共進会記念誌編集委員会 1989『茨城の茶業史』)。明治時代、茶は日本の主要な輸出品目になります。大久保の尽力によって開校した農学校ゆかりの地に徳川齊昭由来の「弥生道」の名称が名付けられるのは、江戸時代から明治時代、幕末維新、新政府と水戸藩の関係を考えると感慨深いです。

### 西郷隆盛と駒場野

西郷隆盛の遺訓集『西郷南洲遺訓』の中に、「青山之極田舎に信吾之屋敷御座候間、其宅を借養生中に御座候間、朝暮は駒場野は纒(わづか)四五町も有之候故、兎狩いたし候處、勝たる散歩に相叶、洋醫も大に悦び、雨降には劔術をいたし候歟、」(青空文庫「西郷南洲遺訓」より。底本:「西郷南洲遺訓」岩波文庫、岩波書店、昭和 14 (1939) 年 2 月 2 日第 1 刷発行、昭和 60 (1985) 年 2 月 20 日第 26 刷発行)

西郷隆盛は青山の西郷従道邸で療養中、駒場野で兎狩りをしています。西郷は農学校開校前年の西南戦争で戦死。大久保は西郷の通った駒場野で農学校を開校します。また、西郷隆盛は水戸藩士 藤田東湖との交流が知られます。

### 向ヶ岡弥生町と弥生慰霊堂

千代田区北の丸公園の入口、田安門を潜ると左側の石垣の上に銅板屋根が見えます。この建物は警視庁の弥生慰霊堂で、この名称も向ヶ岡弥生町が名称由来です。弥生二丁目の住宅地と東京大学浅野地区は明治時代の警視局(後の警視庁)の敷地で、東京大学浅野地区と同本郷地区の間、長方形の区画は射場でした。南側に発射場、北側に的を配置した監的壕が掘られていました。弾丸の被弾を防ぐため射場は防護壁で取り囲まれており、射場の西側の弥生町通りと呼ばれた道路は本郷側の台地と防護壁に囲まれていたため「暗闇坂」と呼ばれました。東京大学埋蔵文化財調査室の行った浅野地区武田先端知ビル地点の遺跡調査で監的壕へ降りる階段、ミニユー銃の弾丸をはじめとする弾丸が出土しています。射的場は土族の反乱鎮圧を目的に建設、大久保、川路が建設に尽力します。当初、射的場は明治 7 (1874) 年上野に建設され演習を開始しますが、明治政府は明治 10 (1877) 年の内国勸業博覧会開催を決定。明



写真 2 弥生道 東京大学駒場 I キャンパス (2018 年 8 月 2 日撮影)



図 1 駒場農学校平面図  
駒場コミュニケーションプラザ「歴史ギャラリー」

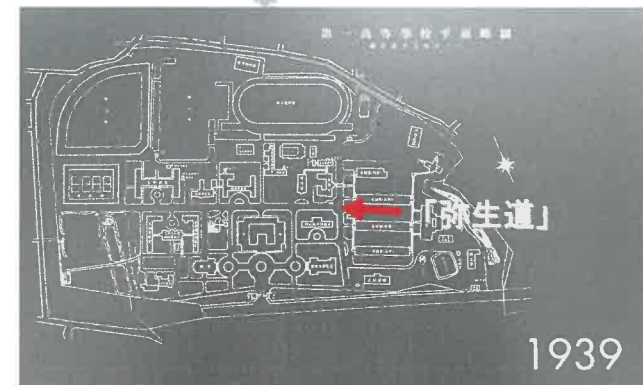


図 2 第一高等学校平面図  
駒場コミュニケーションプラザ「歴史ギャラリー」



写真 3 第一高等学校跡地(東京大学農学部)  
向陵碑 1935 年建立 (2018 年 8 月 12 日撮影)



図 3 向陵碑の位置

治9（1986）年に営業を休止。射的場は向ヶ岡弥生町に移転し明治10（1877）年1月に演習を開始します。演習を行った警視庁関係者は、川路に率いられ陸軍別働第三旅団として西南戦争へ従軍します。西南戦争終結後、明治18（1885）年、射的場敷地に業務で殉職した警視庁、消防（当時は警視庁管轄）関係者、川路大警視、警察顧問ガンベッタ・グロースを祀った弥生神社が浅野地区工学部9号館辺りに創建されます。

### 茨城県東海村の原子炉弥生

東海村にある東京大学の原子炉「弥生」（廃止処置中）の名称は大学院国際専攻のある浅野地区が弥生町にあったことが由来で、外来研究員宿泊施設は「弥生宿舎」と命名されています。

### まとめ

向ヶ岡弥生町と駒場Ⅰキャンパスの繋がりについて書きました。偶然とはいえ、近代農業の発展、殖産興業に尽力した大久保利通。徳川齊昭は農政、弘道館建設による教育、反射炉の建設を行いました。共に道半ばで世を去りますが、時代が違えば水戸藩も大久保の明治政府と共に日本の近代化、殖産興業に尽力したかもしれません。



写真4 弥生慰霊堂 千代田区北の丸公園内  
明治18（1885）年銘川崎八右衛門寄進の灯籠  
（2018年12月2日撮影）

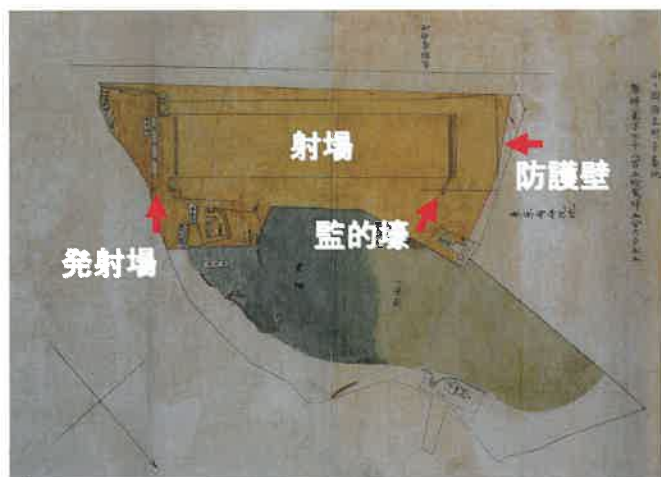


図4 「明治十五年向ヶ岡射的場引受ノ件」附図  
『公文録』黄色部分が射場 国立公文書館蔵加筆



図5 弥生神社 警視庁史編さん委員会 1959  
『警視庁史』p.197より

### 編集後記

夏、駒場Ⅰの体育館の遺跡調査で駒場Ⅰの歴史について調べると、銀杏並木は向ヶ岡弥生町名を名称由来とする「弥生道」と呼ばれ、農学部的前身、農学校には射的場建設に関わった大久保利通と川路利良の名。駒場野では藤田東湖と交流のあった西郷隆盛が兎狩り。向ヶ岡弥生町と駒場が繋がった。農学校には飯田の偉人 田中芳男の名が。

## 向ヶ岡弥生町

News Letter

VOL.17 2018年10月1日発行

発行 原 祐一

連絡先 〒153-8904

東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学埋蔵文化財調査室

携帯 080-5504-9782 メール y-hara@dolphin.ocn.ne.jp

印刷 株式会社 芳文社

〒194-0037

東京都町田市木曾西2-3-14

電話 042-792-3100